

# クリーンセンター建て替え

## コミセン勉強会(第4回) 報告書

日時 : 平成21年3月12日(木)  
場所 : 吉祥寺南町コミュニティセンター2階 第1会議室  
参加者 : 一般 7名  
委員 3名 (橋委員・広江委員・石黒委員)



- **武蔵野市は三鷹市よりごみ処理にコストがかかっている。**

三鷹市の収集は全て委託であるが、参考にしてしているそのデータには委託費が入っておらず、武蔵野市のデータには直営収集の人件費が反映されている。同じベースのデータでないと比較できない。
- **三鷹市では10年以上前から建て替えについて検討をしている。武蔵野市もあと10年延命して、その間に検討を深めたり、技術の革新を待ったりしてみてもどうか。**

三鷹市は、二枚橋を継続利用できないと小金井市に言われていたため、調布市との連携をするために早くから検討を進めていた。

平成17年の調査報告書によると、ボイラーにはピンホールがあり、応急処置として鉄のパッチによる対応をしている。周辺に住む住民として、もう爆発はして欲しくない。
- **もっと技術的な説明を伴う勉強会を行って欲しい。委員は情報を周囲に伝えて欲しい。**

今回の勉強会までが、クリーンセンターの建て替えについて検討が行われていると言う基礎的な勉強会というコンセプトで行っており、次回以降は「中間のまとめ」の内容に基づく、踏み込んだ形の勉強会を行っていく予定である。情報の公開については試行錯誤しているところである。

委員はそれぞれが周囲に報告をしているし、イベントなど機会があるごとに説明をしている。今度「クリーンむさしのを推進する会」で生ごみ資源化施設の見学を行うが、その社車中でも行う予定である。
- **バグフィルターやストーカ炉が一番良いとは思えない。現在の物をそのまま更新するのではなく、果敢に、色々研究して欲しい。**

様々な技術について、委員会として研究を行い精査しているが、なかなか情報が伝わらないところである。

■ **市が市民に生ごみ減量を訴えるべき。**

生ごみについては、市全体で分別を徹底することが難しい。登録制の回収で、生ごみ処理機能を搭載の収集車の導入など、何らかの形で対応をしたい。

- **剪定枝の水曜日の資源化回収について、市民に伝わっていない。**
- **議論は科学的に行うべきである**
- **日の出町の事も考えて議論を進めて欲しい**

など、参加者の方より多くの質問・意見が寄せられ、委員・事務局との意見交換が行われました。また、アンケートでは、

- **私達の出すごみが、どんなに考えて出さなければならず、また、クリーンセンターの寿命、新設備を作る金額、近くに住む人達の心配（地震・事故）などなどのこと、大変な問題が身近にあることが理解でき、また驚きました。市民の意識をもっと広げ、クリーンセンターの建設の件の関心を広めることが大切だと思いました。生ごみ処理での減量も大切だと思いました。**
- **検討状況の現段階が判って良かった**

といった感想をいただきました。